平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ４４ ※記入不要	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター

要望問題　土壌用界面活性剤（保湿浸透剤）の植物に対する影響について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

ピートモス主体の人工培土等、水を弾く資材に対して、親水性を保たせる資材（界面活性剤等）が予め使用されるようになり、灌水がしやすくなった一方、苗床で発芽不良や生理障害と思われる症状が発生している。使用されている界面活性剤等の植物に対する影響は明らかでないので、解明してほしい。

・藤沢・茅ヶ崎・寒川鉢物生産者
約５０戸

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所

部　　署：生産技術部

対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）
新栽培技術による低コスト・省力栽培技術の開発

対応の内容等

人工培養土に添加する界面活性剤による濃度障害などが本県や東京都などで発生しています。生産者の間では不安が広がっており、早急に対策を検討する必要があると考えます。
上記の課題のなかで取り組む予定ですので、ご協力をお願いします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内

備　考